

学校法人 東京聖徳学園

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 光英VERITAS高等学校
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 光英VERITAS中学校
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学三田幼稚園
- 聖徳大学八王子幼稚園
- 聖徳大学多摩幼稚園

SEITOKU FLASH 聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第117号
令和3年12月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<https://www.seitoku-u.ac.jp/gakuen/>

INDEX

- ▼ 学園 5
- ▼ 大学院 大学短大 1 2 3 4
- ▼ 幼児教育専門学校 5
- ▼ 光英VERITAS中・高 5
- ▼ 幼稚園 6
- ▼ 取手聖徳女子中・高 6
- ▼ インフォメーション 6 7
- ▼ 小学校 6

「SEITOKU チャレンジDAY」を開催

十一月五日(金)、「SEITOKUチャレンジDAY」を開催しました。

このプログラムは、大学・短大の一年生を対象に、コロナ禍により中止となった四月のフレッシュマンキャンプと夏の学外研修Iに代えて実施したものです。グループ活動を通して企画力やリーダーシップ力を高め、チームとしての一体感、達成感を得ることを目的としています。



松戸市内では、「戸定邸」(旧徳川昭武別邸)、「松戸神社」や宿場町の名残を残す飲食店等に立ち寄り、江戸川の土手を通り葛飾柴又へ向かいます。中には、江戸川を橋で渡らずに「矢切の渡し」から船で都内に入るグループもありました。作成した企画書をもとに思いのこを歩き、参加者全員が三時間程でゴールの柴又公園に到着しました。

当日は、①「自分達で調べた場所へ行ってみる」、②「自分達ができる地域貢献」を考えて、松戸で実行してみる、③「スタートからゴールまで仲間とどのように交流できるか考えて実行してみる」、④「思いを形に(#聖徳#チャレンジDAY#所属学科)」の四つの目標から二つを選択し、本番に臨みました。

秋晴れの暖かい陽ざしの下、クラスメイトが揃い、学生たちのテンションも自

然に上がっていきます。五、六名のグループごとに受付を済ませ、スタートの大学キャンパスを元気に出発していきました。



学生たちは、お土産として配られた帝釈天参道「高木屋老舗」の草団子を手に、心地よい疲れの中に充実した表情を浮かべ帰路につきました。

松戸市を知る事ができた「松戸市の歴史や名所に触れることができて感動した」などの感想が聞かれ、それぞれ目標を達成したようでした。

光英VERITAS中学校・高等学校 開校記念式典



校長式辞

十月二十三日(土)、本校第一体育室において、光英VERITAS中学校・高等学校開校記念式典が挙行されました。本学園からは川並知子名誉学園長、川並弘純学園長が出席し、また多数の来賓の臨席を賜りました。

当日は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が解除された後でしたが、内容を精選・時間を短縮し、座席間隔を広く取り、マスクを着用しての開催となりました。

式典は名誉学園長、学園長、川並芳純校長の挨拶にはじまり、猪口邦子参議院議員、河上茂千葉県議会議員、本郷谷健次松戸市長、西村清千葉県立中学高等学校協会副会長より祝辞をいただきました。その後、生徒代表の言葉、松戸市高校生英語スピーチコンテストで教育長賞を受賞した生徒の活動発表を行いました。



平出紗也子さん(音楽科5年)による校歌独唱

式典の前後には、VERITAS生の一日と部活動生徒の活躍をまとめた動画を放映し、四月に共学校として新たなスタートを切った本校の姿を多くの皆さまにご披露しました。

現在、さまざまな場面で生徒が活躍しています。これからの光英VERITAS中学校・高等学校にご期待ください。

第五十七回 聖徳祭

オンラインにて開催

第五十七回聖徳祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年に引き続きオンラインでの開催となりました。今年度は「魅せよう! 私たちの壮大な物語を! 繋げよう地域の輪を!」をテーマに、十一月六日(土)・七日(日)に開催されました。八〇本近い動画配信に加え、川並香順記念講堂からのライブ配信により、ダンス部、バトン部、日本舞踊研究同好会の演技のほか、音楽学部の学生によるピアノとエレクトーンのアンサンブルを公開しました。



当日、ライブカメラで配信

今年度の学友会発足時から、「コロナ禍で薄れてしまった人との関係を、聖徳祭を通じて再びつながりを持ってもらえたら」という思いで計画が進められてきました。対面での準備が困難な中でも、一人ひとりが自分の役割を全うし、チームワークを発揮して多くのコンテンツを揃え、新しいオンライン聖徳祭を実現できました。

コロナ禍でも工夫しながら活動を続けたクラブ・同好会の成果や、普段の学びを一般の方にもわかりやすく伝えるように作成された

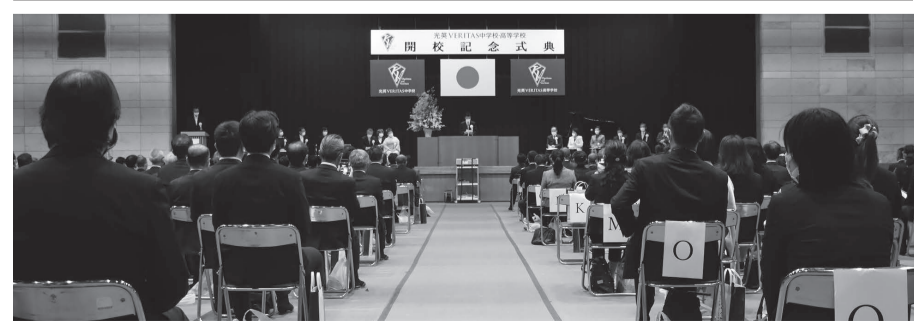


日本舞踊研究同好会

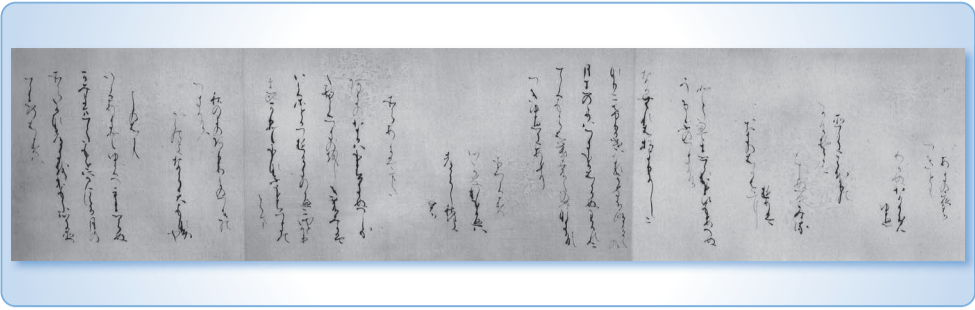
各学部・学科の企画のほか、川並弘昭記念図書館主催で十月二十三日(土)に開催された「第一朗読大会」の様(二面に関連記事)や、大学附属幼稚園、附属小学校の園児や児童の活躍など、バラエティーに富んだコンテンツを配信しました。



バトン部



岩井 秀樹教授が 日展で特選受賞



令和三年度日展(第八回日本美術展覧会)において、文学部文学科の岩井秀樹教授が、平成二十九年度に続き二度目の特選を受賞しました。



日展は、文展創立から帝展を経て百余年、芸術界では最も権威があり知名度も高く、特に書道の分野では、国内最高レベルの公募展として知られています。毎年、全国の名だたる書家が入選を目指して凌ぎを削っています。入選率はわずかに10%前後という難関です。

今年度の書の分野での応募総数は八千五百十八点、そのうち入選者は13%の千八十三点、さらに特選に至っては入選者のわずか0.1%の十作品という結果でした。

令和三年度 栄養関係功労者 厚生労働大臣表彰

表彰

多年にわたり栄養士の養成に貢献したことにより、本学人間栄養学部の須永美幸教授が、八月二十二日(日)、厚生労働大臣表彰を受けました。



聖徳大学 人間栄養学部 教授 須永 美幸

アートパーク14 おさんぽミュージアム

十月十日(日)、松戸中央公園で「アートパーク14」(おさんぽミュージアム)が、聖徳大学児童学研究所(聖徳大学生涯学習研究所主催)が開催されました。十四回目となる今年度は、昨年に続きコロナ禍のため、「見て楽しむアートパーク」を基本

としつつ、一部シャボン玉など体験できるワークショップが行われました。身近な素材を使って公園をアートな空間に変身させ、散歩しながら鑑賞が楽しめます。当日は七〇〇名の親子参加があり、受付で検温をするなど感染対策もしっかりとられました。

岩井教授の「定家月のうた」と題した出品作には、「特選作では唯一の卷子本である本作。文字が集団となりやがて消えゆく様は、このタイトルのように雲間の月の如き美しさである。多様な秀作が揃った仮名作品の中、格調という点では一つ抜き出た傑作といえる」との授賞理由が添えられ、岩井教授の作品が日本の書道界で高く評価されていることが裏付けられました。

日展は、十月二十九日(金)より十一月二十一日(日)まで国立新美術館で開催され、多くの書道家が訪れました。

東京オリンピック パラリンピック担当大臣より 感謝状が贈られました。

聖徳大学大学院 教職研究科 百瀬 定雄 教授

二〇二〇東京オリンピック・パラリンピック大会の開催にあたり、松戸市のホストタウン交流事業の推進に際し極めて顕著な貢献をされたとして、東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣より感謝状が贈られました。



展示は公園全体を使い、十三の展示やワークショップが行われました。学内からは大学児童学科の各ゼミ(大成哲雄ゼミ、関口明子ゼミ、西園政史ゼミ、祓川摩有ゼミ)と学生有志が参加。短期大学部保育科からは、永井妙子教授、北沢昌代准教授のグループが参加しました。また、地域からは保育園、松戸市中学校美術部有志、まちづくり団体、児童館、アーティストなど六団体が参加しました。



来場者は、ゆっくり公園を散歩しながら風や緑を感じながらアートを楽しんでいました。参加した学生からは「屋外での活動で気分もリフレッシュできた」「日頃の学習成果を披露できて自信がついた」などの感想がありました。



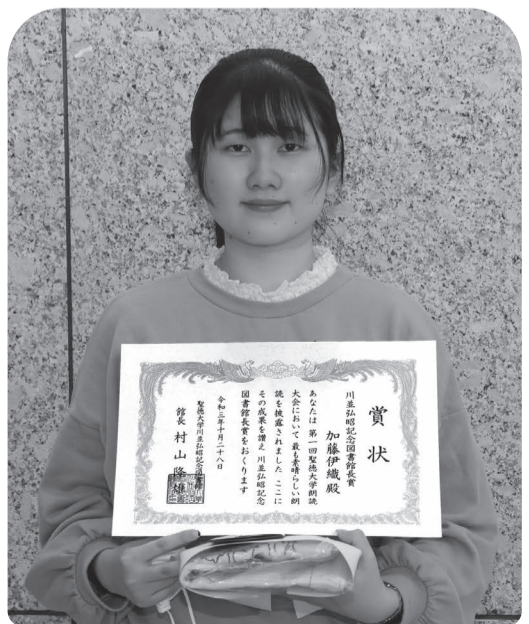
楽器の演奏(関口ゼミ)、子どもたちのダンス(祓川ゼミ)を行い、北沢准教授のグループは、オンラインで保育園と交流し、学生と園児がお互いに顔を描きあった作品を展示しました。また、学生有志の「こどもちゃんねる」は、会場の様子を学生とこどもキャスターがインスタライブで発信し好評でした。

川並弘昭記念図書館主催 第一回朗読大会を開催

十月二十三日(土)聖徳大学川並弘昭記念図書館主催「第一朗読大会」が開催されました。開催の目的は「声で伝える文化の再発見」です。大会に先立ち、十月九日(土)にはフリーアナウンサーの高山久美子氏を講師に迎えてワークショップを行い、参加者は「人に伝える」という自覚と気持ち等の講義を受けた後、朗読の実習指導を受けました。

大会は、学内の教室を会場に、録画での参加も可としたハイブリッド方式で行われ、大学短大のさまざまな学部学科から二十五名のエントリーがありました。

「アートパーク」は今後も地域と大学が連携し、公園を核に学生、市民が楽しめるプロジェクトとして更なる発展が期待されます。



最優秀賞の加藤伊織さん

発表は、各自一分で自己紹介・朗読図書の名義・選定理由を述べ、三分で朗読をします。作品は小説、絵本、漢詩など多岐にわたりました。審査のポイントには、読みの明瞭さ、読み込みの完成度、気持ちの伝わり方等でした。審査員を務めた本学児童学部、文学部の教員五名は、朗読の出来栄に時折感動した様子で審査のペンを走らせていました。



最優秀賞の川並弘昭記念図書館長賞は、川端康成の『写真』を朗読した加藤伊織さん(人間栄養学部二年)が受賞しました。レベルの高い朗読の中でも頭一つ抜けた文句のない受賞でした。この大会の様子は、第五十七回聖徳祭(十一月六・七日にオンライン開催)参加行事として配信されました。

看護学部 だより

実習に向けての感染対策について

看護学部の三年生は秋学期から本格的な施設実習が始まります。三年生は五人ずつ十八のグループに分かれ、一斉に実習に向かいます。実習科目は成人看護学実習Ⅰ(急性期)、成人看護学実習Ⅱ(慢性期)、老年看護学実習Ⅱ、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習の六科目があり、ローテーションを組んで回っていく計画です。

昨年はコロナ禍のため、多くの実習施設では受け入れ学生人数の制限や実習期間の短縮となり、受け入れ困難の施設もありました。しかし、本学ではコロナ禍であっても学生の学びを止めないよう、実習に向けて「新型コロナウイルス感染症に対応した実習ガイドライン」や「COVID-19感染拡大防止への対応に関する誓約書」、二週間記載できる「健康観察票」等を作成し、実習指導への姿勢を示すことで、実習先より「安心して実習を受け入れることができました」という評価をいただきました。

今年も上記に加えて、感染予防グッズの準備、特に去年、不足した手指消毒剤とそれを入れるポシエットを準備しました。更に施設側からの要請により、PCR検査、アイシールドやN95マスクの準備等をして実習に備えています。



ポシエットを斜めがけしてパチリ



アイシールド

実習の初日にこのポシエットを学生に配布すると「看護師さんになったみたい」「この淡いピンクがかわいい」とうれしそうに、実習への緊張も和らいだようでした。

昨年よりも多くの施設が実習の受け入れ数を拡げてください、学生の学びの場を提供していただいています。学生も、昨年実習ができた分を取り戻そうと頑張っています。その思いに報いるためにも、万全の感染対策をとり乗り切っていきたいと思えます。

(看護学部)

実習ワーキング長

榎本 麻里

授業紹介 総合文化学科

「お菓子のアート」

短大総合文化学科フードマネジメントコース一年生製菓専門科目の「お菓子のアート」は、アメ細工とチョコレート細工をマスターする科目です。今年も秋学期から授業がはじまりました。家で菓子作りをしたことがあっても、さすがにアメ細工は初体験。学生は不安と期待の入り混じるドキドキのスタートでした。

アメ細工は砂糖と水飴、酒石酸を百六十五℃まで煮詰めて、大理石に流し全体を七十五℃くらいまで冷ましたら、アメを何度も引いて空気を含ませ艶を出します。

程よい硬さになったら、アメ専用の保温機の上で生地を引っ張り形を作っていきます。

まずは「葉」を作る練習、これがしつかりできるようなるといよいよ花(バラ)作りです。バラの花びらは葉の形から作っていくので、最初の「葉」作りがとても重要になります。学生たちも、最初は細長くならず、艶がなくなったり、艶がなくなったりと苦戦していましたが、いつしか自分自身でコツをつかみ、葉の形が良くなってきました。

第五回目の授業のテーマは作品組みでした。バラの花などの他には、スフレといってアメに空気を入れて膨らませて球体や



①アメを引きます



②球体に膨らませます(スフレ)



③1枚1枚葉を作ります



⑤完成しました!



④組み立てます

りんごなどを作る技術も学んだので、それらを生かして小さめの作品を作ります。アメは作業温度が六十℃以上になるため、綿手袋の上からゴム手袋をつけて作業していきます。それでも十分熱いのですが、五回の授業を終えた学生たちはもう慣れてしまったようでもう楽しさが勝るとのこと。授業後半で制作する大型作品にも期待が高まります。

聖徳大学・千葉県教育委員会共催

特別支援教育フォーラム2021

十月三十日(土)に、大学七号館七〇一教室を会場に、聖徳大学と千葉県教育委員会の共催による「特別支援教育フォーラム2021」が開催されました。

との話がありました。続いて、千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課長の青木隆一氏より、共催による本フォーラムが、計約二百二十名の参加となり、全国的に関心が高まっていることの話がありました。



分藤賢之氏による基調講演

今年度は、「特別支援教育の未来を考える」というテーマを掲げ、その上で高等学校における特別支援教育を切り口として、「小・中・高・大」とつながる特別支援教育を目指して」というサブタイトルのもと実施されました。

第一部の文部科学省初等中等教育局視学官分藤賢之氏による「新しい時代の特別支援教育の在り方について」と題した基調講演では、高等学校の特別支援教育に係るこれまでの取組と、今後の方向性についての説明がありました。



ありました。続いて、千葉市立稲毛高等学校教諭清水範子氏により、「高等学校における通級による指導の現状と課題」という題名で、通級による指導の具体的な実践例を中心とした発表がありました。

第二部のシンポジウムは、四名のシンポジストによる説明で始まり、千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課長の青木隆一氏からは、教育行政の立場から、教職員の専門性向上、通級による指導の実施状況等についての説明がありました。続いて、国立特別支援教育総合研究所インクルーシブ教育システム推進センター主任研究員の小西孝政氏からは、全国の高等学校における特別支援教育の状況などの説明がありました。そして、千葉県立佐倉南高等学校校長の金田一幸氏からは、校長という立場からの説明がありました。最後に、千葉県立松戸向陽高校教諭の川名拓人氏からは、高等学校の特別支援教育コーディネーターとして、また通級による指導の担当者としての現状と課題についての説明がありました。フロアからの質問、チャットによる感想、大学院生の事前の質問等に対応しながらの活発なシンポジウムとなりました。



シンポジウムの様子

第五十四回 香和会総会・交流会を開催

ハイブリッド形式で 全国から一〇〇名が参加

九月十九日(日)、大学七号館にて香和会第五十四回総会・交流会を開催しました。「コロナを正しく恐れ、工夫して行う」を合言葉に、昨年に続きZoomを使用したハイブリッド開催です。当日は、会場参加の四十五名に加え、盛岡や静岡など、全国のリモート参加五十五名の総勢一〇〇名の顧問・役員・会員・教職員が顔を揃えました。

森田節子副会長の開会の辞、長江曜子会長の挨拶、顧問代表として川並知子名誉学園長のリモートでの挨拶がありました。続いて、川並弘純名誉会長より、「実績職率全国女子大一位」の実績紹介がありました。総会は、令和二年度事業決算書、監査の各報告へと

進み、令和三年度事業計画案・予算案の議事も承認され、全国七支部長挨拶へと移りました。リモートで各支部長のリレトークを行い、笑顔の香和会ネットワークを実感しました。交流会は、「つながる・ひろがる。和の精神」と題した動画放映で始まり、この動画は、学園関係者がそれぞれに学園歌を歌う様子を収めたもので、学友会をはじめ、学園関係者、香和会役員などの歌声をつなぎ、最後は一大コーラスで締めくくられています。「北から南まで母校愛を語る」企画では、音楽療法士、図書館司書、保育士など、各分野で活躍する卒業生五名のリモート出演がありました。インタビュー形式

Table with 3 columns: Branch Name, Date, Time. Includes: 北関東支部 (合同開催) 12月5日, 近畿・中国・四国支部 12月18日, 甲州・中部・東海支部 1月30日.

夢の実現に向けて

聖徳夢プロジェクト「面接チャレンジ会」を開催

コロナ禍により企業が採用を厳選する傾向にある中、人物を見極める面接試験の重要性はさらに高まっています。一方で、面接に対して苦手意識を持つ学生も多く、就職活動が停滞する一つの要因となっています。

式で学生時代の思い出やエピソードが披露され、会場は大いに盛り上がり、最後はリモート参加の皆さんを交えての記念撮影を行いました。散会となりました。香和会では、全国の各地区で同窓会を開催しています。卒業生の皆さんのご参加をお待ちしております。



実現に向けて前向きに挑戦できるようにすることをねらいとしています。また、教職連携で全学的に学生への実践的な就職支援に取り組むことで、学内全体の就職活動への機運を高める効果も期待されます。

十一月四日(木)のリモート方式面接を皮切りに、十一月十一日(木)には、一般教室にて対面方式の面接を行いました。本学の教職員が面接官を務め、面接官一名に対し学生が四名の集団面接を行いました。学生は、今回が初めての面接ということもあり、皆緊張した面持ちで質問に答えていました。面接後は面接官から一人ひとり講評を受け、自分の課題を確認することができました。

本学では、一年次よりキャリア教育プログラム「聖徳夢プロジェクト」を実施し、学生が段階的に自分のキャリアデザインを構築できるようなサポートをしています。その一環として、キャリア支援課では今年度新たに「面接チャレンジ会」を企画しました。これは、来年度就職活動を行う大学三年生、短大一年生の全学生を対象に、対面・リモート両方の方式で模擬面接を実施する試みです。早い段階から面接の機会を設け、学生が自分の課題に気づいて克服し、夢の



川並弘昭記念図書館・聖徳博物館 館長だより

イエラ・レップマンが目指した 子どもの本による世界平和

今年も丑年ということで、『はなのすきなうし』を二月に紹介いたしました。行く年を同書にまつわる話で締めたいと思います。時は一九四五年、ユダヤ系ドイツ人で英国に亡命していたイエラ・レップマンは、米国軍司令部の要請に迷いながらも、占領地域の女性と子どもたちの文化的教育の問題に対する顧問としてドイツに戻りました。ジープに同乗して国中をまわり、復興のために必要なことをドイツの知人たちと話しあいました。そして彼女は「精神の栄養」という言葉に出会い、考えを深め「まず子どもたちからはじめさせてください」と占領軍の上官を説き伏せ国際児童図書館を実現します。一九四六年十二月のベルリンでの展覧会の初日にやってきた少女が、サンタクロースとトナカイのソリが描かれた踊り場によって「これが平和ね」と言ったのを聞きま

保健センター 所長だより

新型コロナウイルス感染症の治療薬について

新型コロナウイルス感染症は少し落ち着いてきていますが、今冬に心配される第六波に備えて、新型コロナウイルス感染症の治療薬についてお話いたします。二〇二一年十月現在、日本では、ご入院が必要な方への①レムデシビル(点滴)②デキサメタゾン(点滴、飲み薬)③パキシチニブ(飲み薬)と、入院の必要のない軽症から中等症の方への④カシリピマブ/イムデマブ(点滴)の五つです。④のカシリピマブ/イムデマブは、もともとインフルエンザウイルスの治療薬で、新型コロナウイルス感染症にも効果が期待されています。早ければ、本年(二〇二一年)中に認可される予定です。新型コロナウイルス感染症のmRNAワクチン三回目接種の開始と、モルヌピラビルなどの軽症から中等症の方のための飲み薬のお薬の承認が待たれます。(所長 宮川三平)

募金だより

▼ご注意ください！

寄付金控除を受けるには「確定申告」の手続きが必要です。

年末が近づくと「寄付金控除の手続きは年末調整でできるのかしら？」それとも確定申告？どちらで手続きするの？」と、お問い合わせをいただくことがあります。答えは「確定申告」です。

寄付金の控除は、一月一日から十二月三十一日までに行なった寄付金額の総額で計算をするため、額が確定する翌年に手続き(確定申告)をする必要があります。

聖徳学園へのご寄付は、文部科学省より寄付金控除の対象となる証明を受けており、所得税の控除を受けることができますので、翌年二月に受付が開始される確定申告での手続きをご利用ください。

「聖徳教育芸術振興募金」寄付者芳名一覧

ご協力ありがとうございます

- 大学後援会関係
 - 三〇〇,〇〇〇円 田代 和子 様 (七〇〇,〇〇〇円)
 - 職員関係
 - 二〇〇,〇〇〇円 小池 一夫 様 (六〇〇,〇〇〇円)
 - 五,〇〇〇円 松村 正明 様 (四五,〇〇〇円)
 - 匿名希望者合計
 - 七〇〇,〇〇〇円
- 香和会関係
 - 一三〇,〇〇〇円 森田 節子 様 (四三〇,〇〇〇円)
 - 光英VERITAS
 - 一,〇〇〇,〇〇〇円 中学校・高等学校関係
 - 大島 義和 様
- 合計
 - 二,一三三,五〇〇円
- 累計
 - 五〇二件 九五,四六七,八二一円

(注)公開をご希望されない方については、掲載しておりません。令和三年十月末までに寄付が特定できました方を掲載いたします。(なお、お振込の照会に時間がかかり、掲載が遅れる場合がございます。その際には、次号にてご報告いたします。)

●お申し込み・お問い合わせ先
東京聖徳学園 募金課 TEL.047-395-1111(代)
ホームページアドレス <https://seitoku-u.ac.jp/donation/>
聖徳 募金 検索

幼児教育専門学校

聖徳にここにまつり・児童文化研究発表会(文化祭)を開催

十一月三日(水・祝)、本校と聖徳大学三田幼稚園合同の恒例行事「聖徳にここにまつり・児童文化研究発表会」が開催されました。コロナ禍が続く中、今年も外部非公開とし、密を避けるため午前十時からの第一部、十一時半からの第二部、午後二時からの第三部と三回に分けて行いました。

校舎と園舎に囲まれた園庭には、赤、ピンク、黄、青などのビニール傘を吊るした装飾が施され、太陽の光を通して鮮やかに下を照らします。来場した園児や保護者が笑顔であふれる素晴らしい演出となりました。

また学生達は、一階正面玄関から四階までの階段、三階の廊下の壁面装飾を、短時間の中でアイデアを出し合い製作しました。学生達



児童文化研究発表会では、「児童文化Ⅲ」の授業で学んだ指先の技能を發揮した折り紙の作品、製作帳、エプロンシアターの展示や、今年度は「11ぴきのねこ」をモチーフに、小人数グループで大型紙芝居の製作にチャレ



の手により、校舎内はまるで魔法にかけられた様な賑やかな明るい空間に変わりました。本校学生による発表では、「児童文化Ⅱ」の授業で学んだ人形劇、パネルシアター、手遊びを園児と保護者の前で披露しました。第一部は観覧者が廊下にあふれるほどの大盛況となり、第二部と第三部は、密を避けて二回公演にしました。学生は、可愛らしい園児たちの前で二回演じることができ、学びがより深まりました。

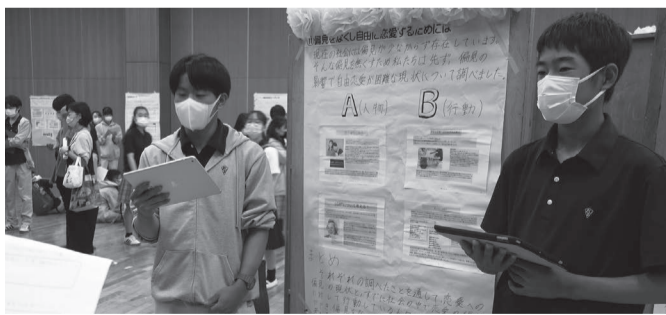
光英VERITAS中学校・高等学校

第一回 光英祭 — 共学化初の文化祭 —

九月二十五日(土)、二十六日(日)第一回光英祭を開催しました。コロナ禍ということもあり、外部非公開での開催(一部YouTube配信あり)となりましたが、日ごろの成果を發揮する良い機会となりました。

一日目は、全生徒が探究発表会を行いました。毎週一時間、各学年で取り組んでいる探究活動の成果を發表する場です。光英VERITASの目指す「地球を守る自覚と実践力のある次世代リーダー」育成に向けて、グループワーク、調べ学習プレゼンテーションなどに取り組んできました。光英祭では、前期を通して学習してきた成果を、多くの人の前で発表しました。保護者にも参観していただき、良い緊張感をもって発表に臨むことができました。生徒たちにとって新たな目標

や課題を発見する良い機会となりました。



二日目は、全校生徒のみで行う文化祭となりました。コロナ禍での準備は苦労もありましたが、それぞれが最大限の力を發揮し、展示や発表を行うことができました。

光英祭では、学年を超えた交流により建学の精神である「和」が広がったことと思います。この経験が、今後のより良い学校生活へとつながることを大いに期待しています。



した。多くの制限がある中、部活動の生徒たちは夏休み中も練習に励み、当日はすばらしいパフォーマンスを披露しました。

秋季スポーツ大会

十月十一日(月)に、秋季スポーツ大会を行いました。夏休み中から、実行委員の生徒が主体となり、開催に向けて準備を進めてきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、午前は高校生、午後は中学生と二回に分けての実施となりました。種目は男女一〇〇メートル、男子一五〇〇メートル、女子一〇〇〇メートル、男女クラ

ス対抗リレーを行いました。



当日は最高気温が二十七度を越える夏日となる中、競技も応援も熱くクラス・学年一丸となつて取り組みました。秋空の下、生徒たちはそれぞれ青春の一ページを刻んだことと思います。

取手聖徳女子中学校・高等学校

ICTで学びを広げる

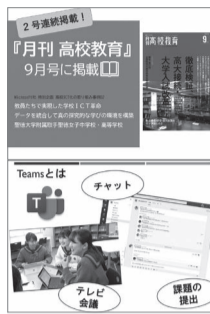
コロナ禍でも学びを止めない基盤作り

本校では入学時に指定のデバイスの購入を求めず、BYOD(Bring Your Own Device)を基本として、個人が所有するパソコン、タブレット、スマートフォン等の端末を校内外での学びに活用しています。また必要に応じてタブレットパソコン(Surface Go)を貸し出しています。



生徒たちは日々の授業で自分のスマートフォンやタブレットを使い、Microsoft Teams等のアプリを自由自在に活用しています。

この本校の認める最先端の取り組みは、「Microsoftも認める最先端の取り組み」とお墨付きをいただき、同社のホームページや月刊高校教育(学事出版)にも紹介されました。



『月刊 高校教育』9月号に掲載。Teamsとはチャット、テレビ会議、課題の提出

第三十九回 聖徳祭

十月十六日(土)・十七日(日)の二日間、「第三十九回 聖徳祭」が開催されました。

昨年に続き、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、保護者や一般への公開はせず、生徒による内部公開のみでの実施となりました。

今年度のテーマは「繋げ！新・聖徳の輪！」。コロナ禍で行事が中止となり、先輩から後輩へと受け継がれる伝

臨時休校となった際も、この環境が功を奏し、オンラインにより学びを止めることなく時間割通りの授業を実施しました。生徒たちは身近に迫った聖徳祭(文化祭)の準備にも「Zoom」を活用し成功に導きました。

コロナの学校生活の様々な場面でもICTの活用は進んでいます。日々進化を続ける本校のICTへの取り組みは、ホームページで随時お知らせしています。ぜひご覧ください。



統が途絶えようとしている。そんな今だからこそ自分たちの傘が溢れるスローガン。その大作は中央階段を飾り、大いに雰囲気盛り上げました。

ちの手で「取手聖徳」というバトンを繋いでいきたい。そんな生徒一人ひとりの熱い思いがこのテーマには込められています。

伝統を守る一方で、新たな試みが多く見られました。生徒玄関には「アンブレラスカイ」が設置され、色とりどりの傘が生徒を迎えました。また、書道パフォーマンスで書かれた筆力溢れるスローガンの大作は中央階段を飾り、大いに雰囲気を盛り上げました。

休校期間の悶々と過ごしてきた思いを晴らすかのようになり、生徒のアイデアやパフォーマンスが存分に発揮された、充実した二日間となりました。

附属小学校

子どもたちの頑張りがあってこそ 第三十六回 聖徳祭をオンラインで開催

九月の緊急事態宣言延長により、十月に予定していた本校の第三十六回聖徳祭は全校参加での開催を中止しました。それでも児童たちの思いに伝えようと、五・六年生、吹奏楽クラブの発表を十一月にオンラインで動画配信しました。



五年生の和太鼓演舞は児童たちが作ったオリジナル作品です。音楽専科の教員が中心となり、子どもたちのアイデアをまとめあげました。異なるリズムが同時に演奏される難易度の高い作品「電善万火」は練習に苦労しまし

たが、休み時間に進んで自主練習をするなど、とても意欲的に取り組みました。六年生の卒業演奏はハチャ

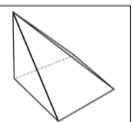
四角錐の体積公式の「1/3」とはなぜか？

第一回授業研究が行われました

今年度一回目の授業研究が、十月二十日(水)に六年二組の算数授業で行われました。今回は、聖徳大学の一ノ瀬喜子教授を講師に、四角錐の体積を求める公式の「底面積×高さ×1/3」の「1/3」について考える授業を行いました。

担任の稲葉幸一教諭から児童に手渡された四角錐は、トウリアン作曲の「ガイーン」に挑戦しました。一学期中は順調に練習が進みましたが、二学期は九月に練習ができず、十月によく再開できました。本番に間に合うかという心配をよそに、児童たちは集中して合奏の練習に取り組む、驚くほどに上達しました。

吹奏楽クラブは、元々一日三十分という短い練習時間が、コロナ禍により二グループに分けられたため半分となりました。それでも子どもたちは楽しんで活動に取り組みました。本番では皆、練習通りの力を出し切って発表できました。児童たちの頑張りがあってこそ実現できた発表となりました。



体積公式の「1/3」について考える内容でした。

底面が正方形で、二つのとなりあった側面が、底面と垂直な直角二等辺三角形のものでした。授業の前半は、その四角錐の展開図をできるだけたくさん考え出す流れとなり、児童からさまざまなバリエーションの展開図が発表されました。後半は、考え出された展開図をもとに、四角錐の

体積公式の「1/3」について考える授業が行われました。講師の一ノ瀬喜子教授から、四角錐の展開図から展開図をできるだけたくさん考え出す流れとなり、児童からさまざまなバリエーションの展開図が発表されました。後半は、考え出された展開図をもとに、四角錐の

※今回の授業は現在の学習指導要領には扱われていない高度な内容ですが、「聖徳の子」の論理的思考力を高める発展的内容として取り組んでいます。

体積が立方体の1/3なら、三つ組み合わせると立方体になるのでは？。先生から渡された四角錐を組み合わせると、見事に立方体になりました。授業後の協議会では一ノ瀬教授から、「小学校段階では、経験的に1/3を理解するしかありませんが、展開図から1/3を理解させようとした発想はチャレンジといえます」と好評がありました。

幼稚園短信

聖徳大学三田幼稚園

日常に戻ること願って

コロナ禍により保護者が来園しての参観行事がなかなか実施できない中、今年度も何かいい方法はないかと模索が続いています。

一学期は、緊急事態宣言があり分散登園がありと通常保育に近づけず悪戦苦闘しましたが、一学期のまとめとして学年ごとに小さな「生活発表会」を事前に録画し、保護者に動画配信で披露しました。桜組(年少児)は、各クラスでクレヨンに扮して踊りました。梅組(年中児)は、絵本「たろうのともだち」の物語を毎日違う役になりきって踊りました。

松組(年長児)は、桜梅組の経験に隊形変化をプラスし



秋の運動会は、今年度初めて保護者に子どもたちの姿を直接見ていただく機会になりました。二歳児はアンパンマンになっての遊戯、桜組は生活発表会の内容を発展させたクレヨンに扮した遊戯、梅組は遊戯と玉入れをしました。そして松組

本園では、毎年十月に「聖徳にこにこまつり」という父母の会主催のバザーを開催しています。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止を考え、園児と家族だけの参加で、十月十七日(日)に実施しました。

聖徳にこにこまつり

聖徳大学八王子幼稚園

当日は、幼稚園内の換気、不織布マスクの着用、手指の消毒、ソーシャルディスタンスを心掛けるなどの対策を取り、学年毎で三部構成のバザーとなりました。年度始めから幹事のお母さまがさまざまな準備を進め

た踊りと合奏を披露しました。動画ではありましたが、子どもたちが楽しみ満足する様子を保護者に披露することができました。

は、クラス対抗全員リレーを行いました。走るのが苦手な子どもが頑張れるようクラスごとに作戦を考え、走るのが遅い人から順に走るのになりました。その甲斐もあって、子どもたちは「リレー楽しいね」と真剣に練習に取り組み本番も楽しむことができました。



品々に足を止め、買い物を楽しまれていました。来年度は新型コロナウイルス感染症が収束し、在園児、家族から卒業生、近所の方々まで、皆さんに向いていた「聖徳にこにこまつり」が開催できることを願っています。

聖徳大学多摩幼稚園

高尾山遠足

十月二十八日(木)、本園の年長組が高尾山遠足に出かけました。今年には新型コロナウイルス感染症対策のため公共交通機関は使わず、園バスで高尾山に向かいました。車中では、子どもたちは八王子市の高尾山にまつわる昔話を聞き、期待に胸を大きく膨らませていました。

現地に到着すると、一行はケーブルカーで高尾山駅まで登りました。日本一の急斜面を登るケーブルカーは迫力満点で、落ちそうな感覚に「先生なんだか怖いね」「上から来るケーブルカーとぶつからない?」と



「頑張ってください」と声を掛ける子どもたちの姿に心が温かくなりました。友達と励まし合いながら最後まで登り切った喜びはとてもよい経験となりました。

不思議な様子でした。下車後、山頂までは自分たちの足で登りました。しばらく歩いていくと「蜻蛉」を発見。「これが蜻蛉?」「四五〇歳だつて!」と大木を見上げて驚き、「ほんとに根っこがこんなに曲がったんだね」と道をよけて立つ杉に感心していました。また、天狗が腰掛けたという杉の木の前では「今、なんか動いたよね」「天狗がいるんじゃない?」「声が出たよ」と目を丸くしていました。



ちば興銀のお花畑

聖徳大学附属幼稚園

十月二十日(水)、秋晴れの暖かな日差しが差し込む大安吉日。千葉興業銀行七〇周年記念を記念して、本園の花壇に花を植えるセレモニーが実施されました。これは千葉興業銀行、県内の花の生産者、子どもたちの教育への貢献などさまざまなパートナーシップの連携が地域を活性化させ、持続可能なまちづくりにつながることとを目的としています。

当日は、朝早く到着した花の多さにビックリ!そして、日比谷花壇の方々が、花植えの準備から子どもたちへのレクチャー、花壇の仕上げまでしてくださいました。

「千葉興業銀行が来年七〇歳のお誕生日を迎えます。今日はそのお祝いで聖徳幼稚園にお花を植えますよ」この園長先生の話に子どもたちはワクワク。続いて、「ポットをひっくり返して苗を抜きます。お花の根っこは細いから優しくしてくださいね」という「お花の先生」の話を真剣に聞きます。子ども用の軍手を五本の指にはめ、小さなスコップを片手に花壇に横一列に並び、自分の手でパンジーの苗を植えました。あつという間にパンジー、キンセンカ、ストック、千葉県産の花が花壇一面に広がり「ちば興銀のお花畑」が完成!園庭の一角が明るく華やかになりました。



コロナ禍であっても聖徳幼稚園の子どもたちはいつもここに元気な子どももにこにこ元氣な子どもも園庭で遊ぶ時には花を眺めて楽しみ癒され、大切に育てていきます。関係者の皆さま、ありがとうございます。

聖徳大学附属第二幼稚園

附属小学校への園外保育

毎年十月頃、園児は園外保育に出かけます。今年度は、満三歳児パンダ組・三歳児桜組は幼稚園隣のペンギン公園に行き、ドングリ拾いや葉っぱや木々などの自然に触れ、園庭で保護者が作ってくれたお弁当を食べ、日常とは少し違う楽しい時間を過ごしました。

四歳児梅組・五歳児松組は、それぞれ別の日程に分かれ、幼稚園バスで聖徳大学附属小学校に行きました。到着すると校長先生や教頭先生が迎えに来てくださり、園児たちも緊張の面持ちの中、元気に挨拶ができました。梅組の訪問日は、朝から小雨が降っていたため、小学校の体育館をお借りして「だるまさんがころんだ」をしました。広い体育館に横一列に並んだ園児たちは、じっとしている時も、走る



時も、うれしさと楽しさで笑顔があふれていました。



園児たちは、幼稚園に戻ってからも「また、附属幼稚園のお友達とリレーがしたいな」「今度は負けないよ!」と、しばらくの間今日の楽しかったこと思い出していました。

コロナ禍の中での園外保育でしたが、安全で楽しいひとときを過ごすことができ、附属小学校に興味を持った園児もいました。今後も聖徳の和を広げていきたいと思ひます。

聖徳大学附属浦安幼稚園

実りの秋を迎えました

稲刈り、サツマイモ掘り

本園では、環境教育の一環として年間を通して植物の栽培を行っています。優しい気持ちをはぐくみ、植物の成長の過程や世話することの大変さや、収穫することの喜びを経験し、園児たちに季節ごとの植物の変化に興味や関心を持ってもらうことがねらいです。

本園の近隣には田畑がないため、例年大きな樽のミニ水田で稲の栽培をしています。田植えは五月にクラスごとに行い、毎日水やりをして大切に育てました。また園児たちは「しぜん」の絵本を通して、稲が毎日何気なく食べている「コメ」になるまでを知りました。九月二十二日(水)に行った稲刈りでは、園児たちは収穫した稲穂を見て「わあ!おこめだ!おこめがはいつてる!」と大喜びでした。長い月日をかけて世話をして、ようやく一粒の米が実る大変さを理解したようです。



サツマイモの苗も五月に大きな樽のミニ畑にクラスごとに苗植えをし、毎日水やりをして育てました。園児たちは、葉がたくさん出てつるが伸び、季節を追うごとに成長する様子を見て、また先生から、苗が土の中で成長してサツマイモに育つまでの話を聞き、収穫を待ちわびていました。



いよいよ収穫の日です。園児たちは土の感触を楽しみながら優しくサツマイモを掘りました。僕の方が大きいおイモだよ!「たくさんおイモがとれたよ」と笑顔でサツマイモを見せ合いながら収穫の喜びを味わっていました。みんなで収穫した「さつまいも」は、いろいろな料理に変身し十一月の給食に出ています。さあ、どんなメニューになるのでしょうか。

聖徳大学附属成田幼稚園

新型コロナウイルス感染症対策をしながらの運動会

本園では九月二十四日(金)に秋季大運動会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、保護者一名のみで参観し、二部に分けて開催しました。例年の「頑張れ!」という大声援が響く運動会とは違い、拍手だけの応援となり寂しい気持ちもしましたが、園児たちは一時間という限られた時間の中で、走ったり、踊ったり、元氣いっぱい競技を行いました。



幼稚園最後の運動会となる年長松組は「まつり太鼓」のマスゲームをしました。法被にはちまき姿でラップ芯のバチで手作りの樽太鼓を叩き、祭りのポーズもかっこよく決めて年長組らしい姿を見せてくれました。運動会を通して園児たちは年齢ごとにそれぞれ成長が見られました。年長児は意欲的に活動し充実感や満足感を得て、友達と協力する大切さにも気づくことができました。年中組は、クラス対抗の競技を行いクラス意識が強まり、友達のかかわりが深まっています。年少組や満三歳児クラスも、

令和4年度 大学院(春学期入学) 入試日程【通学課程】

聖徳大学大学院通学課程[共学/昼・夜開講]
博士後期課程(一般入試、社会人入試、内部推薦入試、研究生入試)
☆児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for B日程 and C日程.

B日程※1: 臨床心理学研究科を除く B日程※2: 臨床心理学研究科のみ
博士前期課程(一般入試、社会人特別入試、内部推薦入試、研究生入試)
☆児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for B日程 and C日程.

B日程※1: 臨床心理学研究科を除く B日程※2: 臨床心理学研究科のみ
博士前期課程(私費留学生特別入試)
☆児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for B日程 and C日程.

B日程※1: 臨床心理学研究科を除く B日程※2: 臨床心理学研究科のみ
専門職学位課程(一般入試、社会人入試、現職教員特別入試、内部推薦入試)
☆教職研究科

Table with columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for B日程 and C日程.

令和4年度 大学院(春学期入学) 入試日程【通信教育課程】

聖徳大学大学院児童学研究科通信教育課程

Table with columns: 区分, 出願期間, 入試日. Rows for 春学期入学A日程 and B日程.

Table with columns: 区分, 出願期間, 入試日. Row for 春学期入学.

令和4年度 入試日程

聖徳大学(女子)/聖徳大学短期大学部(女子)(総合型選抜)
☆大型型、短大型

Table with columns: 入試区分, 出願期間, 入試日. Rows for D日程 and E日程.

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Row for 公募制.

※看護学部は実施しない
<学校推薦型選抜>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows for 社会人特別入試, アスリート・セカンドキャリア支援, アスリート・サポート, 帰国子女特別入試, 私費留学生特別入試, 私費留学生特別奨学入試.

※看護学部を除く
<社会人入試・アスリート入試・帰国子女入試・留学生入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows for 一般入試, 内部推薦入試.

<編入学・専攻科入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows for 一般選抜, サテライト試験場 一般選抜, 大学入学共通テスト利用選抜, 実技特別選抜入試.

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 試験日. Row for AO入試.

<推薦入試・特別入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 試験日. Rows for 公募推薦入試, 保育所・幼稚園園長推薦入試, 同窓会推薦入試, 大学生・短大生(含専修学校)特別入試, ダブルスクール特別入試, 社会人特別入試.

<指定校推薦>

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 試験日. Row for 指定校推薦入試.

<一般入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 試験日. Rows for 一般入試.

光英 VERITAS 中学校・高等学校(共学)

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for 第一志望入試, 第1回入試, VERITAS理数特待選抜入試, 第2回入試, VERITAS英語入試, 特待選抜入試, 第3回入試, 前期入試I, 特待選抜入試, 推薦入試, 一般入試①, 前期入試II, 一般入試②.

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for 一般推薦, 探究型推薦, 陸上推薦, 吹奏楽推薦, 一般入試, 併願推薦型入試, 兼 学力特待選考・特別進学コース選考(I)(II), 帰国子女入試.

聖徳大学附属小学校(共学)

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows for III期入試, IV期入試, 編入(1学期~).

★詳細は、各校の募集要項でご確認ください。

学校説明会関係行事のご案内

通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) お問い合わせ: 047-365-1200(直通)

オンライン入学説明会(予約制)
令和4年 ▶1月9日[日] ▶2月6日[日] ▶2月20日[日]
各日13:00~13:45 ※3月以降も随時開催予定です。

オンライン入学個別相談(予約制)
▶12月11日[土] ▶12月12日[日] ▶12月19日[日]
令和4年 ▶1月8日[土] ▶1月15日[土] ▶1月16日[日] ▶1月22日[土] ▶1月29日[土] ▶1月30日[日]
各日10:00~15:00 ※2月以降も随時開催予定です。
※WebアプリZoomを使用したオンライン個別相談となります。
※詳細はホームページ[NEWS]でご確認ください。

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

オープンキャンパス 第15回 ▶12月18日[土] 14:00~16:00

個別相談会 ▶12月4日[土] 令和4年 ▶1月12日[水] ▶3月19日[土]
13:00~16:00 17:00~19:00 13:00~16:00

光英 VERITAS 中学校・高等学校(共学) (旧 聖徳大学附属女子中学校・高等学校) お問い合わせ: 0800-800-8442(入試広報室直通)

入試説明会 中学校 ▶12月11日[土] 高等学校 ▶12月4日[土]
9:30~11:30 9:30~11:30

個別相談会 中学校 ▶12月25日[土] ▶12月26日[日] 高等学校 ▶12月25日[土] ▶12月26日[日]
9:30~11:30 9:30~11:30 9:30~11:30 9:30~11:30

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

受験対策相談会 ▶12月4日[土] ▶12月11日[土]
9:30~11:00 ※10:00~12:00(オンライン型)

未来校者対象説明会 ▶12月18日[土] 9:30~11:30

併願合格者説明会 令和4年 ▶1月29日[土] ▶1月30日[日] 9:30~

中学1・2年生対象学校説明会 兼 吹奏楽コース説明会 令和4年 ▶2月12日[土] ▶3月12日[土] 9:30~

読者の声 ご意見・ご感想の宛て先
学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。
今後も内容の充実と努めてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。
(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネット) https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub

学校法人 東京聖徳学園 聖徳フラッシュ 第117号
発行人/川並弘純 編集/総務課
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代) 21.12.1 ret (13.7)

※詳細につきましては、各校にお問い合わせください。

聖徳大学附属小学校(共学) お問い合わせ: 047-392-3111(代)

学校説明会 令和4年 ▶1月22日[土] ▶3月12日[土]
10:00~11:30(新年長・年中保護者対象) 10:00~11:30(入学希望者対象)

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート 長野県佐久市春日 2258-1 かすがの森
旧中込学校
住所 / 長野県佐久市中込 1877
電話 / 0267-62-7845
開館時間 / 9時~17時(11月~3月は16時まで)
休館日 / 月曜日(祝日の場合は翌日)、毎月第2火曜日、年末年始は休館
入場料 / 大人260円、高校生・大学生150円、小・中学生120円
写真提供: 佐久市観光協会

セイトク®の派遣会社だから安心
派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください
セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門1-1-20
0120-525-126 般 13-300726 13-ユ-300913

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が懸念されています。
本紙に掲載しているイベント・行事については、今後中止・延期になる場合があります。
事前に各学校や園にお問い合わせをお願いします。